



「自主・自律・連帯」12月号 ～早いもので師走です～

師走の声を聞くと、なんとなく慌たしさを感ずる。

時のたつのは早いもので、もう12月を迎えました。地域の皆様方におかれましては、いかにお過ごしでしょうか。また、平素は本校の教育の充実に変わらぬご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、1年の締めめの月となりました。この秋から行った行事について、その一部を紹介させていただきます。

◆県新人戦が行われました

先月号でお知らせした各クラブが、県大会に出場し素晴らしい成績を収めました。主な試合結果は、次のとおりです。この他、個人戦でも多くの生徒が健闘しました。

- 男子体操部 団体 2位
- 女子体操部 団体 優勝
- 男子テニス部 団体 3位（近畿大会出場）
- 男子テニス部 個人（森本・和田ペア）5位（近畿大会出場）



◆手話講座を行いました（3年生）

10月31日（月）、3年生は手話講座を行いました。

今年の文化発表会で3年生は「手のひらの声たち」という耳の不自由な主人公の演劇を行います。

その劇の事前学習として、実際に聴覚障がい者の方に来ていただき、手話やコミュニケーションの方法を教えてくださいました。講師先生が楽しい雰囲気ですべて説明されたこともあって、笑顔のあふれる講座となりました。



◆職業学習を行いました（2年生）

11月10日（日）、2年生は職業学習を行いました。

コロナ前は毎年職場体験学習を行い、地域の色々な企業に出向き、体験学習をさせていただいていましたが、今は行うことができません。そこで、たくさんの企業の方に学校に来ていただき、職業の魅力ややりがい、必要な資格、勤務時間や苦労話を聞かせていただきました。今回は6人の講師先生（株式会社ウメタ、佐藤法律事務所、有限会社セイワ設備工業、ゆかり接骨院、株式会社クラシアル、田辺市役所）に来ていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。



◆食育講演会を行いました（1年生）

11月1日（火）、1年生は食育講演会を行いました。講師は栄養教諭であり、上芳養小学校にお勤めの中嶋月子先生に来ていただき、食事の大切さを学習しました。講演会が終わってからの生徒の感想を紹介します。

- ・私は最近、朝ごはんを食べずに登校することもあったので、朝ごはんの大切さや給食のありがたみも分かりました。
- ・食べ物にはスポーツにつながっていることがよく分かりました。
- ・これからはタンパク質・ビタミン・カルシウムを意識して3食しっかりとりたいです。
- ・日本では、食べ残しが多いことにびっくりしました。これからは残さず食べたいと思います。

公民館だより 令和4年12月号



西部

発行：西部公民館
館長 中西ひとみ 主事 津田祐司
電話：26-4925 FAX：25-6029
事務所：田辺市高雄一丁目23番1号
田辺市民総合センター内



防災講演会

大地震がおこったら

～命を守り、被災後にスムーズに過ごすために～女性の視点からも考える～

南海トラフ地震など巨大地震の発生確率が日々高くなり、いつ起こってもおかしくない状況の中、災害時どんな状況になるのかを知り、命を守るためには、そして命が守られたあと、できる限りスムーズに過ごすためにはどんな準備が必要か、具体的にお話いただけます。非常用簡易トイレの使い方も体験します。女性視点からの避難所の在り方のお話しも・・・講演や展示で知り、災害への備えを進めませんか。

○主催 西部地区防災訓練実行委員会

○日時 令和4年12月16日（金）午後7時30分～

○会場 田辺市立西部センター 2階集会室

○講師 鹿毛 智子さん

○駐車場 西部センター前広場、もとまち保育所、天神児童館前駐車場

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止になる場合がございます。

○問合せ 西部センター（電話22-0693）

入場無料
定員60名

【講師略歴】

鹿毛智子 NPO法人南紀こどもステーション理事長 きっずBOSAIクラブスタッフ 防災士

田辺市生まれ。大阪教育大学卒業。田辺市社会福祉協議会の職員として、地域づくりを進める中で防災士資格を取得。地域での集まりや学校、また理事長をしているNPO法人南紀こどもステーション主催で防災講座を行っている。

2011年の東日本大震災には、介護職のボランティアを現地にこなぐなど後方支援をし、同年の台風12号の際には災害ボランティアセンターの一員として関わる。

災害に強いまちを目指し、未来を担う子ども達が健やかに生き抜く力を身につけ育つよう「地域ぐるみの子育て」を南紀こどもステーションの活動を通じて進めるとともに、田辺市市民活動センター長として市民活動の活性化を図っている。



西部公民館・西部センター共催

第80回 グラウンドゴルフ大会 参加者募集：

○日時 令和4年12月10日（土） ※荒天時は12月11日（日）に延期

受付 午前8時30分～ 開会式 午前9時00分～

○会場 天神グラウンド

○対象 西部公民館区在住の小学4年生以上の方

○申込み 不要（直接会場へお越しください。）

○その他 ※荒天時の延期の決定は、午前8時00分ごろに行います。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止又は延期となる場合があります。

○問合せ 西部センター（☎22-0693）



2022年度 第45回天神児童館まつり・令和4年度西部人権の集い

○天神児童館まつり

11月5日（土）～6日（日）の2日間にわたり天神児童館にて「2022年度 第45回天神児童館まつり」が開催されました。コロナ禍の影響により3年ぶりとなった



この行事は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、例年に比べ規模を縮小して行われました。

地域の方々や西部地域の小・中学校、保育所、幼稚園の子ども達の作品展示をはじめ、昔遊びの体験やものづくり（小物入れづくり）体験、ゲームといった子ども向けの内容も多く用意されていました。

児童館には、多くの子ども達や家族連れの皆さんが来場し、楽しいひとときを過ごすことができました。また、ご協力いただきました実行委員の皆さま、地域の皆さま、ありがとうございました。

○令和4年度 西部人権の集い

11月6日（日）、天神児童館にて「令和4年度 西部人権の集い」が行われました。田辺第三小学校の児童と明洋中学校の生徒が日ごろ人権について感じたことや学んだことを作文で発表しました。



作文の発表後、白浜町の聖福寺の住職である関守研悟さんによる「音楽法話～いのち輝いて～」の人権講演会が行われました。

法話は、難しい内容のものではなく、歌と歌との間にお話があり、優しい口調と透き通った歌声で聴いていると心が和み、来場された方もうっとりしながら聞き入っている様子でありました。

作文の発表と法話を聴いて、人権を尊重することの大切さを再認識することができました。

田辺第三小学校「清心自立」11月号

『種』

「樹木にとって最も大切なのは何かと問うたら、それは果実だと誰もが答えるだろう。しかし実際には種なのだ。」これは、19世紀のドイツの哲学者が遺した名言です。

この言葉は、「多くの人は果実を手に入れたいからこそ樹木を育てている。だから当然、最も重要なのは果実だと考えている。しかし、その樹木も種をまかなければ決して果実が実ることはない。種こそが大切なのである。」という意味です。

これを子ども達の教育に置き換えて考えた時、何を教えてくれるのでしょうか。果実と言えるのは「良い結果」つまりテストの得点であったり、行儀のよい態度であったりといった、目に見える成果だと考えることができます。

テストの点数や大人の言うことをよく聞く態度に教員や親は喜び、ほめてしまいがちであるけれど種と言える「核心部分」つまり人間性や個性こそが最も大切にしなければいけないものである。そう考えることができると思います。

私たち田辺第三小学校の教職員は、「たくましく、健やかに、ひとり立ち」を学校教育目標に子ども達に勉強だけでなく、ひとり立ちしていくために必要な「生きる力」を教えようとしています。今年度からスタートした田三小アップデートは、まさにその核心部分の「非認知能力」、つまり人間力を育てることを目指しています。

そのためには、体験活動など地域とのかかわりの中で、学んだことの意義を実感できるよう充実させていくことが大切になってきます。

11月は学校開放週間や様々な体験、見学行事がたくさんありましたが、そういった中で保護者や地域の方、また見学先の方々と関わらせていただき、協力・連携、支えていただいていることは大変感謝しております。

今後とも保護者、地域の皆さまと共に子ども達の未来のために種をまき、育てることに力を尽くしたいと思います。

❖大盛況！ 学校開放週間

11月4日から13日にかけて、学校開放週間としてたくさんの行事を行いました。特に、日曜参観日では、天候が悪い中でしたが、久しぶりの制限なしの参観ということで、たくさんの保護者に来校していただくことができました。久しぶりににぎやかな参観日となりました。

また参観授業後には、上の山スポーツチャレンジデーとして、西部子どもクラブ様と田辺NVCバレーボールクラブ様のご協力で、ドッジボールとバレーボールの体験会をすることができました。こちらも天候が悪い中でしたが、約60名の参加があり、クラブスポーツにチャレンジする良い機会となりました。西部子どもクラブ様、田辺NVCバレーボールクラブ様、ご協力ありがとうございました。



❖先生、今日も取ってきたで～！ 街のごみ拾い隊

「先生～。今日も取ってきたで～！」最近、夕方になると職員室に響き渡ります。ドアを開けるといつも4年生の仲間数人が立っています。聞くと以前に、江川公園にごみがいっぱい捨てられているので何とかしてほしいとの声があり、各学級でも呼びかけたのですが、それを受けてゴミを拾ってきてくれたそうです。

その後もだんだん拾ってくれる仲間が増え、「今日は江川漁港のあたりも拾ってきたで～！」と範囲が広がってきました。

地域の方の声に自分たちでできることを考え、行動するその発想力・実行力とてもうれしいですね。

この児童らの行動が、地域全体が変わるきっかけになるといいですね。

